

「広報いんざい」 毎月15日号に連載中！

ごみのことおしえて！ブンベツくん！



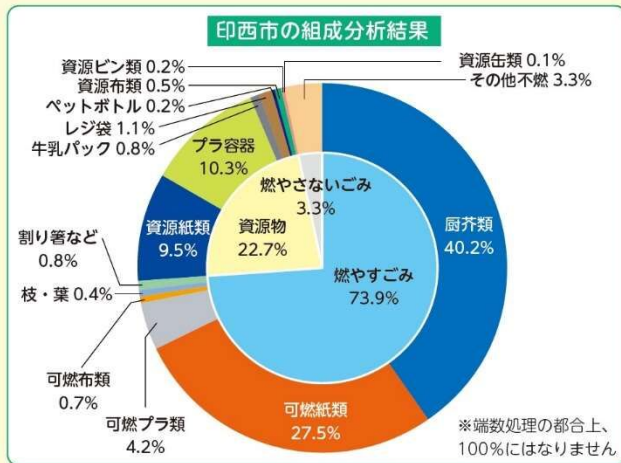
「ごみの分別大事典」シリーズ 令和4年度⑨

ごみのことおしえて！

ブンベツくん！



令和4年度 燃やすごみの組成分析結果



燃やすごみの袋を無作為に抽出し、排出された種類や量を分析することで、ごみの分別状況などを確認しています。今回サンプルとして抽出した燃やすごみ(60.26kg)を分析した結果、73.9%が燃やすごみ、22.7%が資源物、3.3%が燃やさないごみでした。

資源物を分別しよう

リサイクル可能な資源物(紙類・容器包装プラスチックなど)が十分に分別されず、燃やすごみとして出されていました。資源物は、分別して集積所に出すことで資源の循環が図れます。また、市では有価物集団回収を奨励しており、資源化は地域の活動として取り組むこともできます。

燃やさないごみは区別しよう

不適物の混入は、収集後の処理に支障が生じるだけでなく、収集不適物として収集されなかった場合には、集積所を管理している周辺住民の迷惑にもなります。

生ごみや食品ロスを減らそう

燃やすごみの袋の中に、生ごみや食品ロスが40.2%含まれていました。生ごみを減らすには水切りや、生ごみ処理機の使用がおすすめです。本来食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)を減らすため、食材は食べきれぬ量を購入・調理し、食べきれない贈答品などはフードドライブ(市社会福祉協議会などに寄付)を活用しましょう。

ごみの減量・資源化にご協力を

今年9月の燃やすごみの1人1日当たりの排出量は485.8gで、前年同月の496.3gから10.5gの減量です。今年度の目標値435.8gを達成するには、あと50g(大きめの紙袋1個相当)の減量・分別が必要です。

圏クリーン推進課推進係 ☎33-4504



「ごみの分別大事典」シリーズ 令和5年度③

ごみのことおしえて！

ブンベツくん！



今すぐできます！ 生ごみを減量するポイント

家庭から出る燃やすごみの半分ほどは生ごみです。生ごみを減らすことで、家庭から出るごみの量が大幅に減ります。また、それに伴い臭いも減ることで猫やカラスに荒らされることが少なくなり、ごみを出すときに集積所へも運びやすくなります。

生ごみの減量化に向けて、ぜひ次のような方法を試してください。



食品ロス(食べられるのに捨てられる食品)をなくす

食品は必要な分だけ購入し、なるべく食べ切るようにしましょう。外食時に、食べ切れない場合には、店に持ち帰りができるか聞いてみましょう。



生ごみの水分を切る

生ごみの80%は水分です。水分を絞ることで、6~10%の減量ができます。野菜くずを水切りネットで絞ったり、お茶がらやコーヒーかすをザルの上で乾燥させることなどは、簡単で効果的な取り組みです。

生ごみ処理機や生ごみ処理容器を利用する

生ごみ処理機や生ごみ処理容器(コンポストやEM容器など)を使用することで、ごみを乾燥させて減量したり、熟成させて堆肥化したりすることができます。

市では、これらを購入した人に、補助金(購入額の2分の1※上限あり)を交付しています。



生ごみを土にかえす

庭や畑の土中に野菜くずなどを埋めることで、土中の微生物やミミズなどの土壌生物が、野菜くずなどを分解して土にかえしてくれます。



燃やすごみの原単位(1人1日当たりのごみ排出量)

今年3月の燃やすごみの1人1日当たりの排出量は、435.1gでした。

前年同月の450.3gから15.2g減ったため、第3次印西市ごみ減量計画の目標値435.8gより0.7g減量・分別が進んでいます。

今後とも、ごみの減量・資源化にご協力をお願いします。



圏クリーン推進課推進係 ☎33-4504

～ごみ減量・3R 推進動画を公開しています！～



市では、ごみの減量や 3R 推進の取組みについて紹介する動画を制作しています。



オンライン ごみ処理リサイクル施設見学会

皆さんが集積所に出した資源物とごみは収集車が回収した後に、どのように処理をされているかご存じですか。資源物とごみの処理工程を動画で見学していきましょう。



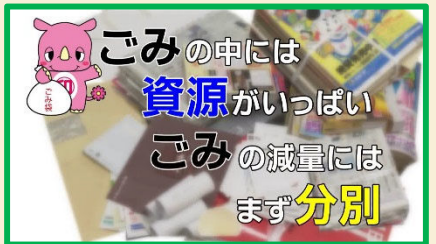
食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう

本来食べられるのに捨てられてしまう食品、「食品ロス」。この食品ロスの半分近くは、ご家庭から発生しています。この動画では、食品ロスを減らし、ごみの減量を目指す、皆さんと一緒にできる取組みについてご紹介します。



ごみの中には資源がいっぱい ごみの減量にはまず分別

ごみの分別についての動画を作成しました。皆さんが燃やすごみで捨ててしまっているものの中にも、雑がみやプラスチック製容器包装など資源物にできるものがまだまだあります。分別をより徹底して、ごみを減量していきましょう。



ごみを減らして資源を大切に使う・キーワードは 3R

そもそもごみって何だろう？どうしてごみを減らさなければいけないの？ごみはどうしたら減るの？できることから始めてみましょう！



ごみ減量のために 3R「みんなができること」

ごみ削減のキーワード 3R をご存知ですか？ごみを削減すると家計も地域も市全体も得することばかり。難しいことはありません。3R を実践してみましょう！



考えてみよう！生ごみのこと

家庭から出されるごみの中に含まれる生ごみは約 40%。生ごみを減らせばごみの減量につながります。どうしたら生ごみが減るか考えてみましょう。



印西市環境経済部クリーン推進課

TEL:0476-33-4504